

エステイの 国際交流コーナー



（ しょうざい 贖罪の日 「ヨム キプール」 ）

皆さん、こんにちは！さわやかな風とともに秋がやってきました。皆さんは今年の「シルバーウィーク」を楽しんで過ごしましたか？

イスラエルでも秋の休暇が多く、旅行や家族との時間を楽します。

昨年この時期にりんごと蜂蜜で祝うユダヤ教の正月、「ローシュ・ハツシャーナー」について書きました。今年も9月18日にユダヤ暦の5770年が明けましたが、今回は別の祭日について話をしたいと思います。

祭日と言っても、普通の祭りと大きく異なる「ヨム キプール」(贖罪の日)と呼ばれる日です。今年の9月28日に祝われた「ヨム キプール」はユダヤ人にとって一年で最も重要な日だと位置づけられています。



ユダヤ教では、「ローシュ・ハツシャーナー」と「ヨム キプール」の間の10日間は神様が一人ひとりの運命を決める時期であり、その最後の確定は「ヨム キプール」の日に行われます。そのため10日間は自分の去年の行動

を考えたり、罪を悔いたりして、神様だけでなく、傷つけた人にも謝ります。そして、最後の日のヨム キプールは断食の日です。前の日の夕方から25時間の間飲食、入浴、化粧などの使用や労働でも禁止です。その一日は祈りと反省だけで過ごさなければなりません。

しかし、現在のイスラエル人は皆そのような厳しい規則に従うわけではありません。断食する人は今でも多いですが、一日祈り続ける人はかなり減りました。ヨム キプールの日は公共交通機関が停止され、個人的にも非常時を除き自動車を運転しません。ヨム キプールの日に運転するのは白い目で見られます。しかし、車道が空いていますので、新しい習慣が発生しました。子供たちが自転車やスケートボードなどで町中を走り回ります。

ヨム キプールの日は心の純粋を象徴する白い服を着ます。テレビやラジオの番組も全て中止されますが、現在世界ではインターネットもありますし、映画も借りることが出来ますので、普通の休暇と同じ様に家で過ごす人が多いです。

私は今まで日本で過ごした3年間、毎年ヨム キプールの日は大学や仕事を休んで断食しましたが、周りは通常の生活が続きますので、ヨム キプールの気分になるのは難しいです。とにかく、これからはじまる新年は皆にとってよい年になるのを祈っています。

いつまでもお達者で

敬老の日にちなみ「長寿者表彰66人」

9月1日、2日、4日、7日の4日間、21日の敬老の日を前に「長寿者表彰」が行われ、赤塚町長が各自宅を訪れて直接表彰状を手渡しました。

今年の表彰対象は、最高齢者1人と100才4人、米寿を迎えた人61人で計66人です。4日には、伊岐津志の町内最高齢で104才の白木みねさんのお宅で表彰を行い、地元町議会議員、民生児童委員、町老人クラブ連合会会長、地区老人クラブ会長がお祝いに駆けつけました。



町内最高齢の白木みねさん(前列右から3人目)